



平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年5月9日
上場取引所 東

上場会社名 タカラバイオ株式会社
 コード番号 4974 URL <http://www.takara-bio.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 仲尾 功一
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 松崎 修一郎 TEL 077-565-6970
 定時株主総会開催予定日 平成29年6月23日 配当支払開始予定日 平成29年6月26日
 有価証券報告書提出予定日 平成29年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期の連結業績（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期	29,375	△1.2	3,202	20.1	3,579	8.4	1,352	1.4
28年3月期	29,729	14.5	2,667	15.8	3,301	19.1	1,334	38.4

(注) 包括利益 29年3月期 92百万円 (△85.8%) 28年3月期 648百万円 (△74.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
29年3月期	11.24	—	2.3	5.4	10.9
28年3月期	11.08	—	2.2	5.0	9.0

(参考) 持分法投資損益 29年3月期 ー百万円 28年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期	67,143	59,985	89.2	497.32
28年3月期	66,591	60,110	90.1	498.34

(参考) 自己資本 29年3月期 59,884百万円 28年3月期 60,007百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
29年3月期	3,584	13,493	△280	22,200
28年3月期	3,021	△4,177	△221	5,568

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
28年3月期	—	0.00	—	1.80	1.80	216	16.2	0.4
29年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00	481	35.6	0.8
30年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00		26.0	

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,049	6.4	487	△64.6	523	△63.7	18	△97.2	0.16
通期	33,200	13.0	3,300	3.0	3,600	0.6	1,850	36.7	15.36

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料10ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

29年3月期	120,415,600株	28年3月期	120,415,600株
29年3月期	—株	28年3月期	—株
29年3月期	120,415,600株	28年3月期	120,415,600株

(参考) 個別業績の概要

1. 平成29年3月期の個別業績（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期	19,422	10.2	229	—	2,008	38.6	1,261	79.7
28年3月期	17,625	9.2	△808	—	1,448	18.4	701	65.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期	10.47	—
28年3月期	5.83	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期	61,485	57,009	92.7	473.44
28年3月期	59,901	55,964	93.4	464.76

(参考) 自己資本 29年3月期 57,009百万円 28年3月期 55,964百万円

※ 決算短信は監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。今後発生する状況の変化等によっては、実際の業績等は上記予想数値と異なる場合があります。上記予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

当社は平成29年5月11日(木)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料および当日の質疑応答については、開催後に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(連結損益計算書)	6
(連結包括利益計算書)	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	12
4. 補足情報	14
(1) 連結比較損益計算書	14
(2) 連結業績予想に関する比較損益計算書	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が進み、景気に緩やかな回復基調が見られました。しかしながら、英国のEU離脱問題、米国の今後の政策の影響など世界経済の不確実性が高まり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、長年培われたバイオテクノロジーを活用し、バイオ産業支援事業、遺伝子医療事業、医食品バイオ事業の3つの領域に経営資源を集中し、業績の向上に努めました。

その結果、当連結会計年度の売上高は、海外における現地通貨ベースでは増収となりましたが、円高の影響が大きく29,375百万円（前期比98.8%）と減収となりました。利益面では、品目別の売上構成の変化等により原価率が低下して売上原価が12,422百万円（前期比92.7%）となりましたので、売上総利益は、16,952百万円（前期比103.9%）となりました。販売費及び一般管理費は、米国のWaferGen Bio-systems, Inc.およびRubicon Genomics, Inc. 2社の株式取得関連費用が発生したこと等により13,749百万円（前期比100.7%）となりましたものの、営業利益は、3,202百万円（前期比120.1%）と増益となりました。

営業外損益では、補助金収入の減少等により収支が悪化したものの、経常利益は、3,579百万円（前期比108.4%）と増益となりました。

特別損益では、売却予定資産や遊休資産等にかかる減損損失667百万円が発生したこと等により、税金等調整前当期純利益は、2,805百万円（前期比96.6%）となりましたが、前期に計上した過年度法人税等がなくなったこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は、1,352百万円（前期比101.4%）と増益となりました。

事業セグメントの状況は、次のとおりであります。

[バイオ産業支援事業]

バイオテクノロジー関連分野の研究開発活動がますます広がりを見せるなか、当社グループは、こうした研究開発活動を支援する製品・商品やサービスを中心に展開する当事業をコビジネスと位置づけております。

当事業の品目別売上高の状況は、主力の研究用試薬や理化学機器の売上高が、円高の影響もあり、前期比で減少いたしました。受託サービスの売上高は前期比で増加いたしました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は、26,573百万円（前期比97.3%）と減収となりましたが、品目別の売上構成の変化等により、売上総利益は15,859百万円（前期比101.4%）と増加いたしました。販売費及び一般管理費は、株式取得関連費用の発生等により9,641百万円（前期比101.4%）と増加いたしましたものの、営業利益は、6,218百万円（前期比101.3%）と前期を上回りました。

[遺伝子医療事業]

当事業では、高効率遺伝子導入技術レトロネクチン法、高効率リンパ球増殖技術であるレトロネクチン拡大培養法、siTCR等の自社技術を利用した、がん等の遺伝子治療の早期商業化を進めております。

当連結会計年度は、腫瘍溶解性ウイルスHF10に関する開発・販売実施許諾対価料として、500百万円が発生いたしました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は、500百万円（前連結会計年度は売上実績なし）となり、売上総利益も500百万円となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費を中心に1,880百万円（前期比106.0%）と増加いたしましたものの、営業損失は、1,380百万円（前連結会計年度は営業損失1,773百万円）となりました。

[医食品バイオ事業]

当事業では、食から医という「医食同源」のコンセプトに基づき、当社グループ独自の先端バイオテクノロジーを駆使して食物の科学的根拠を明確にした機能性食品素材の開発、製造および販売を行っており、ガゴメ昆布フコイダン関連製品、寒天アガロオリゴ糖関連製品、明日葉カルコン関連製品、ボタンボウフウイソサミジン関連製品、ヤムイモヤムスゲニン関連製品およびキノコ関連製品等を中心に事業を展開しております。

当連結会計年度は、健康食品およびキノコ関連製品の売上高が前期比で減少いたしましたので、当事業の外部顧客に対する売上高は、2,301百万円（前期比95.6%）と減収になり、売上総利益も593百万円（前期比87.1%）と減少いたしました。販売費及び一般管理費は、研究開発費等の減少により、488百万円（前期比85.7%）と減少いたしました。営業利益は、104百万円（前期比94.1%）と前期を下回りました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は67,143百万円となり、前連結会計年度末に比べて552百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加625百万円によるものであります。

当連結会計年度末の負債合計は7,157百万円となり、前連結会計年度末に比べて677百万円増加いたしました。これは主に、未払金の増加527百万円によるものであります。

当連結会計年度末の純資産合計は59,985百万円となり、前連結会計年度末に比べて124百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金の増加1,136百万円があったものの、為替換算調整勘定の減少1,086百万円および退職給付に係る調整累計額の減少172百万円があったことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,584百万円の収入となり、前連結会計年度に比べて562百万円の収入増加となりました。これは主に、仕入債務の増加による支出の減少490百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、13,493百万円の収入となり、前連結会計年度の支出から収入に転じ、前連結会計年度に比べて17,671百万円の収入の増加となりました。これは主に、資金運用による収入（定期預金の預入による支出、定期預金の払戻による収入、有価証券の取得による支出、有価証券の売却及び償還による収入の純額）が17,070百万円増加したためであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、280百万円の支出となり、前連結会計年度に比べて58百万円の支出増加となりました。これは主に、配当金の支払額が36百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めた当連結会計年度末の現金及び現金同等物の残高は、22,200百万円となり、前連結会計年度末より16,631百万円の増加となりました。

(4) 今後の見通し

当社グループは、本年4月より2019年度を最終年度とする3カ年の中期経営計画「タカラバイオ中期経営計画2019（以下、本中計という）」を策定し、スタートさせました。本中計で掲げた戦略を着実に実行し、グローバルかつ再生医療等製品企業としてのプレゼンスを向上させ、飛躍的な成長を目指してまいります。

スタート年度の平成30年3月期におきましては、特に米国2社（WaferGen Bio-systems, Inc.およびRubicon Genomics, Inc.）の買収によるシナジー効果の早期最大化が重要課題であり、この実現に向けて種々の施策に取り組んでまいります。

平成30年3月期の連結業績につきましては、売上高33,200百万円、営業利益3,300百万円、経常利益3,600百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,850百万円を予想しております。

なお、平成29年3月期実績との比較は、15ページ「4. 補足情報（2）連結業績予想に関する比較損益計算書」を、本中計の詳細は本日公表の「タカラバイオ中期計画2019」を策定をご参照ください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成しております。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当連結会計年度 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,384	28,078
受取手形及び売掛金	6,830	7,455
有価証券	9,721	2,000
商品及び製品	3,822	4,032
仕掛品	331	459
原材料及び貯蔵品	946	970
繰延税金資産	202	252
その他	961	745
貸倒引当金	△41	△30
流動資産合計	42,158	43,964
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,605	12,699
減価償却累計額	△5,398	△5,032
建物及び構築物 (純額)	8,207	7,667
機械装置及び運搬具	7,014	6,866
減価償却累計額	△4,553	△4,517
機械装置及び運搬具 (純額)	2,461	2,349
工具、器具及び備品	5,766	6,174
減価償却累計額	△3,621	△3,946
工具、器具及び備品 (純額)	2,145	2,228
土地	7,696	7,297
リース資産	28	23
減価償却累計額	△26	△22
リース資産 (純額)	2	0
建設仮勘定	22	34
有形固定資産合計	20,534	19,577
無形固定資産		
のれん	1,641	1,213
その他	1,054	1,087
無形固定資産合計	2,695	2,301
投資その他の資産		
長期前払費用	1,021	856
繰延税金資産	21	26
退職給付に係る資産	73	40
その他	97	387
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	1,202	1,299
固定資産合計	24,432	23,178
資産合計	66,591	67,143

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当連結会計年度 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,690	1,944
短期借入金	63	47
未払金	1,530	2,058
未払法人税等	515	375
賞与引当金	196	425
その他	1,433	1,174
流動負債合計	5,430	6,025
固定負債		
長期借入金	130	82
繰延税金負債	196	210
退職給付に係る負債	488	622
その他	235	215
固定負債合計	1,050	1,131
負債合計	6,480	7,157
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,965	14,965
資本剰余金	32,893	32,893
利益剰余金	9,295	10,432
株主資本合計	57,155	58,291
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,109	2,023
退職給付に係る調整累計額	△257	△429
その他の包括利益累計額合計	2,852	1,593
非支配株主持分	102	100
純資産合計	60,110	59,985
負債純資産合計	66,591	67,143

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
売上高	29,729	29,375
売上原価	13,405	12,422
売上総利益	16,323	16,952
販売費及び一般管理費		
販売促進費	971	854
貸倒引当金繰入額	18	△1
従業員給料及び賞与	3,258	3,082
賞与引当金繰入額	90	236
退職給付費用	122	135
研究開発費	4,275	4,101
その他	4,918	5,341
販売費及び一般管理費合計	13,655	13,749
営業利益	2,667	3,202
営業外収益		
受取利息	170	108
補助金収入	419	226
その他	52	110
営業外収益合計	642	445
営業外費用		
支払利息	2	2
為替差損	—	44
その他	5	22
営業外費用合計	8	68
経常利益	3,301	3,579
特別利益		
固定資産売却益	4	2
特別利益合計	4	2
特別損失		
固定資産除売却損	118	108
減損損失	281	667
特別損失合計	399	775
税金等調整前当期純利益	2,905	2,805
法人税、住民税及び事業税	1,473	1,492
過年度法人税等	180	—
法人税等調整額	△88	△43
法人税等合計	1,565	1,449
当期純利益	1,340	1,356
非支配株主に帰属する当期純利益	5	3
親会社株主に帰属する当期純利益	1,334	1,352

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
当期純利益	1,340	1,356
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△672	△1,091
退職給付に係る調整額	△18	△172
その他の包括利益合計	△691	△1,264
包括利益	648	92
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	646	94
非支配株主に係る包括利益	1	△2

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	為替換算調 整勘定	退職給付に 係る調整累 計額	その他の包 括利益累計 額合計		
当期首残高	14,965	32,893	8,142	56,001	3,777	△238	3,539	101	59,642
当期変動額									
剰余金の配当			△180	△180					△180
親会社株主に帰属 する当期純利益			1,334	1,334					1,334
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)					△668	△18	△687	1	△686
当期変動額合計	—	—	1,153	1,153	△668	△18	△687	1	467
当期末残高	14,965	32,893	9,295	57,155	3,109	△257	2,852	102	60,110

当連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	為替換算調 整勘定	退職給付に 係る調整累 計額	その他の包 括利益累計 額合計		
当期首残高	14,965	32,893	9,295	57,155	3,109	△257	2,852	102	60,110
当期変動額									
剰余金の配当			△216	△216					△216
親会社株主に帰属 する当期純利益			1,352	1,352					1,352
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)					△1,086	△172	△1,258	△2	△1,260
当期変動額合計	—	—	1,136	1,136	△1,086	△172	△1,258	△2	△124
当期末残高	14,965	32,893	10,432	58,291	2,023	△429	1,593	100	59,985

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,905	2,805
減価償却費	1,687	1,722
減損損失	281	667
その他の償却額	199	165
のれん償却額	181	162
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3	△9
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5	218
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	13	135
受取利息	△170	△108
支払利息	2	2
固定資産除売却損益 (△は益)	113	105
売上債権の増減額 (△は増加)	△165	△720
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△600	△594
仕入債務の増減額 (△は減少)	△202	288
その他	51	238
小計	4,308	5,079
利息及び配当金の受取額	176	99
利息の支払額	△2	△2
法人税等の支払額	△1,460	△1,419
過年度法人税等の支払額	-	△172
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,021	3,584
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△14,473	△5,776
定期預金の払戻による収入	14,672	13,392
有価証券の取得による支出	△5,453	△7,026
有価証券の売却及び償還による収入	3,453	14,679
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,263	△1,443
その他償却資産の取得による支出	△111	△74
その他	△0	△257
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,177	13,493
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	7	△14
長期借入金の返済による支出	△47	△47
配当金の支払額	△180	△216
リース債務の返済による支出	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△221	△280
現金及び現金同等物に係る換算差額	△125	△166
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,502	16,631
現金及び現金同等物の期首残高	7,071	5,568
現金及び現金同等物の期末残高	5,568	22,200

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

当社の一部の国内連結子会社は、法人税法の改正にともない、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当連結会計年度に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備および構築物にかかる減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社に製品・サービス別の事業部門を置き、各事業部門は、取扱う製品・サービスについて国内および海外の子会社を含めた包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業部門を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「バイオ産業支援」、「遺伝子医療」および「医食品バイオ」の3つを報告セグメントとしております。

各セグメントにおける主要製品は下表のとおりであります。

報告セグメント	主要製品
バイオ産業支援	研究用試薬(遺伝子工学試薬、細胞工学試薬、タンパク質工学試薬)、理化学機器、受託サービス、遺伝子関連特許等の実施許諾対価
遺伝子医療	腫瘍溶解性ウイルスHF10関連の開発・販売実施許諾対価
医食品バイオ	健康食品(ガゴメ昆布フコイダン関連製品、寒天アガロオリゴ糖関連製品、明日葉カルコン関連製品、ボタンボウフウイソサミジン関連製品、ヤムイモヤムスゲニン関連製品、きのこテルペン関連製品)、健康食品の研究開発受託、健康食品関連の特許等の実施許諾対価、キノコ(ホンシメジ、ハタケシメジ、ブナシメジ、栽培用培地活性化剤)、キノコ関連特許実施許諾対価

2. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益および振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自平成27年4月1日至平成28年3月31日)

(単位:百万円)

	バイオ産業支援	遺伝子医療	医食品バイオ	合計	調整額(注1)	連結財務諸表計上額(注3)
売上高						
外部顧客への売上高	27,320	—	2,408	29,729	—	29,729
セグメント間の内部売上高または振替高	—	—	7	7	△7	—
計	27,320	—	2,416	29,736	△7	29,729
セグメント利益または損失(△)	6,138	△1,773	110	4,475	△1,808	2,667
セグメント資産	37,304	3,266	2,910	43,481	23,109	66,591
その他の項目						
減価償却費	1,177	304	102	1,584	103	1,687
のれんの償却額	181	—	—	181	—	181
有形固定資産および無形固定資産の増加額	1,580	199	96	1,876	214	2,090

当連結会計年度(自平成28年4月1日至平成29年3月31日)

(単位:百万円)

	バイオ産業 支援	遺伝子医療	医食品 バイオ	合計	調整額 (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
売上高						
外部顧客への売上高	26,573	500	2,301	29,375	—	29,375
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	5	5	△5	—
計	26,573	500	2,307	29,380	△5	29,375
セグメント利益または損失 (△)	6,218	△1,380	104	4,942	△1,739	3,202
セグメント資産	50,951	3,663	2,522	57,137	10,006	67,143
その他の項目						
減価償却費	1,165	331	101	1,598	123	1,722
のれんの償却額	162	—	—	162	—	162
有形固定資産および無形固 定資産の増加額	1,036	562	18	1,616	32	1,648

- (注) 1. 前連結会計年度のセグメント利益または損失(△)の調整額△1,808百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費であります。
2. 当連結会計年度のセグメント利益または損失(△)の調整額△1,739百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費であります。
3. セグメント利益または損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)
1株当たり純資産額	498.34円	497.32円
1株当たり当期純利益金額	11.08円	11.24円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円)	1,334	1,352
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式にかかる親会社株主に帰属する当期純 利益金額(百万円)	1,334	1,352
期中平均株式数(千株)	120,415	120,415

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

(WaferGen Bio-systems, Inc. の買収)

当社は、平成28年5月13日開催の取締役会において、当社の100%子会社であるTakara Bio USA Holdings Inc. (以下、「TBUSH社」という。)がWaferGen Bio-systems, Inc. (以下、「WaferGen社」という。)の株式を取得し子会社化することについて買収合意書を締結することを決議し、TBUSH社は、日本時間の同日にWaferGen社と同契約を締結いたしました。また、当該契約に基づき、平成29年2月28日(米国現地時間)に買収手続きを完了いたしました。

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称、株式取得の相手会社の名称、事業の内容および規模

被取得企業の名称	WaferGen Bio-systems, Inc.
株式取得の相手会社の名称	Affiliates of Sabby Management, LLCおよびその他の株主
事業の内容	研究用試薬・装置の製造・販売
平成28年12月期の財政状態	資本金 : 123,716千米ドル
および経営成績	純資産 : 49千米ドル
	総資産 : 10,980千米ドル
	売上高 : 10,733千米ドル
	営業利益 : △16,304千米ドル

②企業結合を行った主な理由

当社グループでは、バイオ研究者向けに研究用試薬、理化学機器および受託サービスを提供しております。特にClontechブランド製品では、近年利用が盛んな次世代シーケンサー向けの試薬キットの開発に注力しており、独自技術であるSMART技術を用いて超微量RNAサンプルから効率よく遺伝子を特異的に増幅する試薬キットを開発しております。また、最近は臨床領域での使用を視野に入れた自動解析装置用に最適化された反応系開発にも取り組んでおります。

一方、WaferGen社は、シングルセル(1細胞)解析用装置ならびに試薬キットや、独自の微量多検体qPCR装置をバイオテクノロジー企業、製薬企業、臨床検査ラボに対して提供しております。

WaferGen社の有するシングルセル解析をはじめとした関連技術と当社グループの持つ分子生物学関連技術が組み合わせられることにより、装置販売による売上増のみならず、シングルセル解析用試薬キット製品の売上増に繋げるなど、高い相乗効果を期待しております。

③企業結合日

平成29年2月28日(米国現地時間)

④企業結合の法的形式

株式取得

⑤結合後企業の名称

WaferGen Bio-systems, Inc.

なお、平成29年5月31日(米国現地時間)をもってTBUSH社の100%子会社であるTakara Bio USA, Inc.に吸収合併する予定であります。

⑥取得した議決権比率

100%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とする株式取得

(2) 被取得企業の取得原価および対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	35,908千米ドル
取得原価		35,908千米ドル

(3) 取得する株式の数および取得後の持分比率

①異動前の所有株式数

なし

②取得株式数

普通株式 : 3,798,112株 (議決権の数 : 3,798,112個)

③異動後の所有株式数

普通株式 : 3,798,112株 (議決権の数 : 3,798,112個、議決権所有割合100%)

(4) 支払資金の調達方法および支払方法

取得資金につきましては、全額当社グループ内の自己資金より充当いたします。

(5) 主要な取得関連費用の内容および金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 3,682千米ドル

- (6) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法および償却期間
現時点では確定しておりません。
- (7) 企業結合日に受け入れた資産および引き受けた負債の額ならびにその主な内訳
現時点では確定しておりません。

(Rubicon Genomics, Inc. の買収)

当社は、平成28年12月15日開催の取締役会において、TBUSH社がRubicon Genomics, Inc. (以下、「Rubicon社」という。)の株式を取得し子会社化することを決議し、TBUSH社は、平成29年1月17日(米国現地時間)に当該株式を取得いたしました。

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称、株式取得の相手会社の名称、事業の内容および規模

被取得企業の名称	Rubicon Genomics, Inc.
株式取得の相手会社の名称	被取得企業の経営者およびその他の株主
事業の内容	研究用試薬の製造・販売
平成28年12月期の財政状態	資本金 : 13,249千米ドル
および経営成績	純資産 : 1,397千米ドル
	総資産 : 4,940千米ドル
	売上高 : 12,554千米ドル
	営業利益 : 2,127千米ドル

②企業結合を行った主な理由

当社グループでは、基礎研究から産業応用まで幅広い分野で利用されている次世代シーケンス解析用試薬キット開発に注力しております。Rubicon社が当社グループに加わることで、同社の持つ超微量DNA配列解析用サンプル調製技術と当社グループの持つ超微量RNA配列解析用サンプル調製技術が補完的に組み合わせることにより、超微量核酸解析領域でより幅広い製品・サービスを提供することが可能となります。さらに、WaferGen社の次世代シーケンス解析用前処理システム(装置)が加わる事により、基礎研究から産業応用まで幅広い領域に製品・サービスを提供することが可能となります。

③企業結合日

平成29年1月17日(米国現地時間)

④企業結合の法的形式

株式取得

⑤結合後企業の名称

Rubicon Genomics, Inc.

なお、平成29年3月31日(米国現地時間)をもってTBUSH社の100%子会社であるTakara Bio USA, Inc. に吸収合併しております。

⑥取得した議決権比率

100%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とする株式取得

(2) 被取得企業の取得原価および対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	75,000千米ドル
取得原価		75,000千米ドル

(3) 取得する株式の数および取得後の持分比率

①異動前の所有株式数

なし

②取得株式数

普通株式：23,006,790株(議決権の数：23,006,790個)

③異動後の所有株式数

普通株式：23,006,790株(議決権の数：23,006,790個、議決権所有割合100%)

(4) 支払資金の調達方法および支払方法

取得資金につきましては、全額当社グループ内の自己資金より充当いたします。

(5) 主要な取得関連費用の内容および金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 2,867千米ドル

(6) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法および償却期間

現時点では確定しておりません。

(7) 企業結合日に受け入れた資産および引き受けた負債の額ならびにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

4. 補足情報

(1) 連結比較損益計算書

(百万円未満切捨て)

	平成28年3月期 通期実績	平成29年3月期 通期実績	前期比 増減	前期比 比率
(売上高)				
研究用試薬	20,488	19,436	△ 1,051	94.9%
理化学機器	3,087	2,911	△ 176	94.3%
受託	3,309	3,800	491	114.8%
その他ファイナ	434	424	△ 10	97.6%
バイオ産業支援計	27,320	26,573	△ 747	97.3%
遺伝子医療	-	500	500	-
健康食品	910	842	△ 68	92.4%
キノコ	1,497	1,459	△ 37	97.5%
医食品バイオ計	2,408	2,301	△ 106	95.6%
売上高計	29,729	29,375	△ 353	98.8%
(営業損益)				
売上高	29,729	29,375	△ 353	98.8%
売上原価	13,405	12,422	△ 983	92.7%
売上総利益	16,323	16,952	629	103.9%
販売費一般管理費	13,655	13,749	93	100.7%
運送費	632	594	△ 37	94.1%
宣伝費	122	89	△ 33	72.6%
促進費	971	854	△ 117	87.9%
研究開発費	4,275	4,101	△ 174	95.9%
商標使用料(宝HLD)	8	8	△ 0	99.2%
管理費、その他	7,509	7,909	399	105.3%
事業税(外形基準)	136	192	56	141.5%
営業利益	2,667	3,202	535	120.1%
(営業外損益)				
営業外収益	642	445	△ 196	69.4%
営業外費用	8	68	60	852.4%
経常利益	3,301	3,579	277	108.4%
(特別損益)				
特別利益	4	2	△ 1	62.5%
特別損失	399	775	376	194.2%
税金等調整前当期純利益	2,905	2,805	△ 99	96.6%
法人税等	1,565	1,449	△ 116	92.6%
当期純利益	1,340	1,356	16	101.2%
非支配株主に帰属 する当期純利益	5	3	△ 2	59.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,334	1,352	18	101.4%
減価償却費(有形・無形)	1,687	1,722	34	102.0%
研究開発費	4,275	4,101	△ 174	95.9%

セグメント別損益(営業利益)

	平成28年3月期 通期実績	平成29年3月期 通期実績	前期比 増減	前期比 比率
バイオ産業支援	6,138	6,218	79	101.3%
遺伝子医療	△ 1,773	△ 1,380	393	-
医食品バイオ	110	104	△ 6	94.1%
共通	△ 1,808	△ 1,739	69	-
計	2,667	3,202	535	120.1%

(2) 連結業績予想に関する比較損益計算書

(百万円未満切捨て)

	平成29年3月期 通期実績	平成30年3月期 通期予想	前期比 増減	前期比 比率
(売上高)				
研究用試薬	19,436	22,506	3,069	115.8%
理化学機器	2,911	3,350	439	115.1%
受託	3,800	4,146	345	109.1%
その他ファイブ	424	382	△42	90.1%
バイオ産業支援計	26,573	30,386	3,812	114.3%
遺伝子医療	500	500	-	100.0%
健康食品	842	731	△110	86.9%
キノコ	1,459	1,581	121	108.3%
医食品バイオ計	2,301	2,313	11	100.5%
売上高計	29,375	33,200	3,824	113.0%
(営業損益)				
売上高	29,375	33,200	3,824	113.0%
売上原価	12,422	13,726	1,303	110.5%
売上総利益	16,952	19,473	2,520	114.9%
販売費一般管理費	13,749	16,173	2,423	117.6%
運送費	594	601	6	101.0%
宣伝費	89	74	△14	84.0%
促進費	854	846	△8	99.0%
研究開発費	4,101	4,868	767	118.7%
商標使用料(宝HLD)	8	8	0	103.1%
管理費、その他	7,909	9,554	1,644	120.8%
事業税(外形基準)	192	220	27	114.3%
営業利益	3,202	3,300	97	103.0%
(営業外損益)				
営業外収益	445	356	△89	80.0%
営業外費用	68	56	△12	81.4%
経常利益	3,579	3,600	20	100.6%
(特別損益)				
特別利益	2	-	△2	-
特別損失	775	309	△466	39.9%
税金等調整前当期純利益	2,805	3,290	484	117.3%
法人税等	1,449	1,429	△20	98.6%
当期純利益	1,356	1,861	505	137.2%
非支配株主に帰属する当期純利益	3	11	8	341.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,352	1,850	497	136.7%
減価償却費(有形・無形)	1,722	2,473	751	143.6%
研究開発費	4,101	4,868	767	118.7%

セグメント別損益(営業利益)

	平成29年3月期 通期実績	平成30年3月期 通期予想	前期比 増減	前期比 比率
バイオ産業支援	6,218	6,594	376	106.1%
遺伝子医療	△1,380	△1,472	△92	-
医食品バイオ	104	121	16	115.9%
共通	△1,739	△1,943	△203	-
計	3,202	3,300	97	103.0%